

「住道本通商店街」  
街道の辻に栄えた商店街



住道駅前デッキから地上に降り、恩智川の護岸堤防に沿って東に歩いて行くと、サンメイツ1番館の東側に住道本通商店街が見えてきます。この商店街の通りが、かつての古堤街道のルートでした。商店街の前身は「住道商店街」と言い、現在の住道郵便局付近（府道八尾枚方線東側）から東西に80メートルほど伸び、100以上の店舗が軒を並べる繁華街でした。昭和50年代の住道駅付近立体交差化事業によって多くの店が撤退し、一部の店は新しくできた大東サンメイツに入りました。

商店街に入ると、各店舗の前には昭和30年代頃の懐かしい写真が掲示され、往時の大東の風景を見ることが出来ます。入口から100メートルほど奥にある果物屋の脇には「古堤街道」と刻まれた道標がひっそりと立っています。ここは、古堤街道と河内街道の辻（交差点）にあたる場所です。八尾く



現在の住道本通商店街

方間を結ぶ河内街道は、道標の北側に  
ある竹橋を渡ると  
四條畷方面に通じ  
ます。明治35年（1902）に建てられた道標は、現在全体の3分の1ほどが  
地中に埋まっているため全ての文字を  
読むことはできませんが、「距高麗」  
「距大和國界」、「距国道第二號路線分  
岐」などがあり、大阪の高麗橋や奈良県  
境、国道2号線との分岐からの距離を  
示しています。



住道本通商店街に立つ道標

商店街を抜け、東に40メートルほど  
行くと、恩智川に架かる三箇大橋があ  
ります。橋梁の桁下が洪水時に想定さ  
れる計画高水位より低く危険なため、  
橋の架け替え（平成30年完成予定）に向  
けた工事が現在進められています。さ  
らに100メートルほど進み、JＲの高架  
下をくぐると、御供田地区に入ります。

（生涯学習課）



昭和30年代ごろの住道商店街